



Daito Chuo Osaka Japan

第2660地区 大東中央ロータリークラブ

*事務所

〒574-0046
大東市赤井1-2-10-4F
TEL : 072-872-6349
FAX : 072-872-6552
E-mail : dc-rc@eagle.ocn.ne.jp
ホームページ http://www.dcrc31477.com/



*例会

毎週水曜日 18:30~19:30
大東市立市民会館
〒574-0076 大東市曙町4-6
TEL : 072-871-0001
FAX : 072-871-0004

■会長:池田文治 ■幹事:古川真照 ■会報委員長:庵谷和宏



RI会長 ジョン・ジャーム

2016~2017年度
国際ロータリー・テーマ
人類に奉仕するロータリー

四つのテスト

- 言行はこれに照らしてから
1. 真実かどうか
 2. みんなに公平か
 3. 好意と友情を深めるか
 4. みんなのためになるかどうか

第 953 回 例会 平成 28 年 11 月 16 日

開会点鐘 : 18:30
 ロータリーソング : 「奉仕の理想」
 来客紹介 : 親睦活動委員長
 会長の時間 : 会長
 諸報告 : 幹事、各委員長、出席報告、ニコニコ箱
 卓話 : 「ボク、起業しちゃいました。」 講師:増田 司氏 担当:北田 宗男 会員
 閉会点鐘 : 19:30

次回(11月30日)のお知らせ

卓話:「献血の現状について」 講師:血液センター推進課課長池田氏 担当:宮城 康夫 会員

11月9日の例会の記録

出席報告

会員数 : 28 名
 出席者数 : 16 名
 欠席者数 : 5 名
 出席規定免除者数 : 7 名
 出席率 : 76.19 %
 10月26日 修正出席率 : 88.00 %
 ↓
 92.00 %

ニコニコ箱

- ・ロータリー財団月間です。よろしく。 前田会員
- ・前田さん卓話楽しみにしています。
池田・川西・宮城・森原 各会員
- ・長男の結婚式無事に終わり、明日からインドです。古川会員
- ・博多もアメリカも大変で心配です。 荒金会員
- ・本日ゴルフでした。寒かったです。 北田会員
- ・急に寒くなりましたね。北口・長崎・庵谷 各会員
- ・例会の欠席、遅刻のお詫び。 東坂・白川 両会員

お客様
米山奨学生
サンウィンモー様

当日計 ¥27,000
 今期累計額 ¥382,200



《会長の時間》

会長 池田 文治

会長の時間の前に今日は「アメリカ大統領の選挙」の日でした。皆様、ご存知の通り「ドナルド・トランプ氏」が第45代のアメリカ大統領に選ばれました。ロータリーの公式の場で政治の話はタブーとされておりますので差し控えますが、TPPから離脱すると公約で述べておられます。アメリカの人気のワインに「オーパスワン」が有ります。少しは飲み易い価格になると期待したのですが残念です。

11月の特別月間は「ロータリー財団月間」です。松本ガバナーのコメントを引用させていただきます。

本年度はロータリー財団創立100周年の記念すべき年であります。RIはアトランタRI国際大会など、たくさんの祝賀行事が奨励されています。

日本の祝賀行事は、11月27日(日)東京にてロータリー財団記念シンポジウムが開催されます。当2660地区では財団委員会、社会奉仕委員会が協議し、任意の全クラブ参加型の社会奉仕プロジェクトが提案予定です。詳細決定次第、ご連絡します。

また、12月9、10日の地区大会においても財団100周年の祝賀と位置づけ、記念イベントを行います。是非、ご参加をお願いいたします。

今年度の年間目標として、ポリオ撲滅に1名あたり60ドルをお願いしています。これまで、全世界122ヶ国の子供たちに予防接種を行いました。現在99.9%の撲滅までこぎつけましたが残念ながら本年8月11日、ナイジェリアで3名のポリオの発生が認められました。しかし、撲滅まであと一歩です。何卒ご理解・ご協力をお願いいたします。

本日は、前田財団委員長長の「ロータリー財団月間に因んで」の卓話となっております。詳細はご説明頂けると思いますので、皆様のご協力を宜しくお願い致します。

[幹事報告]

幹事 古川 真照

2016～17年度 11月度理事会 議事録

11月9日例会後 市民会館401号室に於いて19時45分～行われましたので、ご報告いたします。

出席者：池田、長崎、川西、北口、荒金、北田、白川、宮城、森原、青田(代理岡橋)、古川
欠席者：森川

1、川西会計より10月度の会計報告

10月度の会計報告が有り、半期の会費未納者が残り1名となりました。その他詳細な報告が有りました。

☆ 承認 上程者 川西



2、事務員の歓送迎会について

北田会員組織委員長より、11月22日伊藤事務局員の歓送迎会を非公式にて幹事からFAXを送りましたので、多数のご参加をお願い致しますとのこと。その他、新入会員の歓迎会を後日行いたいと思います。 ◎ 報告 北田

3、出前授業について

白川職業委員長より、11月14日に行われる深野中学校の出前授業について14時迄に時間厳守で、集合をして下さい。尚参加者の方でパワーポイントを使われる方は事前に申し出て下さい。

参加者：白川、長崎、岩本、西垣、宮城、池田、北田、東坂(交代で荒金)以上8名です。

◎ 報告 白川

4、社会奉仕活動について

宮城委員長より、今後の事業計画について職業奉仕委員会と合同委員会を開催しました。合同委員会にて、市民祭りでブースを出さなかった事について討議されました。今年度のブースを出すかどうかの決定はキッチンとルールに則り社会奉仕委員会の中で話し合いが行われ、その後理事会で決定した事項で有ります。社会奉仕以外でのブースの使用目的が有るとすれば、他委員会を通じて提案される事が必要です。市民祭りの件は今後も社会奉仕委員会が中心となり広報活動委員会や関連の委員会と連絡を取りながら検討していただきたいと思います。 ◎ 報告 宮城

5、クリスマス例会について

今年のクリスマス例会は、例年通り阪奈ホテルで行いますが、予算についても昨年のたたき台を元に、考えております。詳細は現在未決定です。理事会として、まずは先日の伊勢の一泊旅行の決算をキッチンと報告してからクリスマスの予算を決めるべきで、後日臨時理事会を行いそこで決定することとする。 ◎ 報告(代理)岡橋

6、その他で長崎直前会長より

先程川西会計より10月度の会計報告をして頂きましたが、奉仕部門の中で赤い羽根募金の収入17個8,500円と支出22個11,000円との差額について、質問がありました。事務局に確認をした所2個は余分に購入しましたが、残り3名が、未購入と成っており早急に3名分の回収をすると共に、2名分の寄付を会員に呼び掛ける事といたします。 ◎ 確認事項 長崎

7、伊藤事務局員退職によるクリスマス例会招待について

古川幹事より、11月をもって伊藤氏が退職されましたが、永年の功績に感謝を込めてクリスマス例会に招待する事を提案されました。また10月度の例会にて退職の報告が出来ませんでしたので、その場にて退職の報告とさせて頂きます。(伊藤氏に確認要) ☆ 承認 上程者 古川

以上20時40分閉会した。



●)) 先週の卓話 (●



「ロータリー財団月間に因んで」
国際奉仕ロータリー財団
前田博子委員長

ロータリー財団の歴史

1917年、アーチ C. クランフ RI 会長が「世界でよいことをするために」基金の設置を提案。この基金が 1928 年に「ロータリー財団」と名づけられて国際ロータリー内の新しい組織となり、現在のロータリー財団にいらっています。

財団の成長

1929年、財団は初の補助金 500 ドルを国際障害児協会へ贈りました。この協会は、ロータリアンだったエドガー F. “ダディー” アレンが創設したもので、後に「イースター・シールズ」（米国の慈善団体）となりました。

1947年、ロータリー創設者のポール・ハリスが亡くなると、多くの人びとから国際ロータリーに寄付が寄せられました。この寄付は「ポール・ハリス記念基金」となって、その後のロータリー財団の発展のために役立てられました。

財団プログラムの変遷

1947年

財団初のプログラム「Fellowships for Advance Study（高等教育のためのフェロシップ）」を開始。このプログラムは後に「国際親善奨学金」として知られるようになる。

1965～66年

財団が新たに「研究グループ交換（GSE）」「Awards for Technical Training（技術研修のための補助金）」「Grants for Activities in Keeping with the Objective of The Rotary Foundation（ロータリー財団の目的を果たす活動のための補助金、後の「マッチング・グラント）」の3つのプログラムを開始。

1978年

「保健、飢餓追放、人間性尊重（3-H）補助金プログラム」を開始。3-H 補助金のプロジェクト第一号として、フィリピンの 600 万人の子どもたちにポリオの予防接種を実施。



1985年

全世界でポリオの撲滅をめざす「ポリオプラス・プログラム」を設置。

1987～88年

初めての平和フォーラムが開催され、これが「ロータリー平和フェロシップ」創設のきっかけとなる。

2013年

世界中のロータリアンがグローバルなニーズに応えられるよう、新しい補助金モデル（地区補助金、グローバル補助金、パッケージ・グラント）を導入。

1917年に26ドル50セントの寄付から始まったロータリー財団は、10億ドル以上の寄付を受けるほどの大きな財団に成長しました。財団はこうして多くの方々に支えられ、人道的分野や教育面での支援活動を続けています。

ロータリー財団

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにする事です。

より良い地域づくりのための活動やグローバルなイニシアチブを資金面で支えているのが、ロータリー財団です。クラブや地区に補助金を提供しているほか、ポリオの撲滅や平和の推進といったグローバルなキャンペーンを展開しています。こうした活動や補助金を実現させているのが、皆さまからロータリー財団へのご寄付です。

リーダーシップ

ロータリー財団は、管理委員長リーダーシップの下、管理委員会によって管理されています。各管理委員は、国際ロータリーの会長エレクト（次期会長）によって指名され、国際ロータリー理事会によって正式に選ばれます。管理委員長任期は1年、管理委員任期は4年です。





大東市市制施行
60周年記念事業
だいとう河内街道マラソン
2016.11.13



出前授業
in大東市立深野中学校
2016.11.14

